

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第27回幹事会議事要旨

- 1 日時： 令和6年4月22日(月)13時30分～14時20分
- 2 場所： オンライン (Zoom)
- 3 出席者： 寶 (会長)、甘利 (副会長)、遠藤 (副会長)、岡島、石濱
オブザーバー： 林 (東京海上日動)
陪席者： 松室 (防災科学技術研究所)、松本 (〃)、小松原 (セコム)、
大貫 (筑波大学)、増田 (〃)、栗原 (〃)、酒井 (〃)、根本 (〃)

(敬称略)

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

(1) コンソーシアムと筑波大生の交流企画について

遠藤副会長から、資料1に基づき説明があり、意見交換の結果、次のとおり企画することとなった。

- ・令和6年度は2回実施
- ・第1回は次のとおり実施

イベント名称：筑波大生×レジリエンス研究教育推進コンソーシアム キャリアマッチングデー

開催日時：7月8日(金)13:00-16:00

開催場所：筑波大学(つくばキャンパス)

参加機関募集：幹事会終了後、参加依頼送付(締め切り：5月17日(金))

- ・第2回の企画内容は第7回総会(5月27日)に諮る

(2) 令和6年度コンソーシアムの行事について

遠藤副会長から、資料2に基づき次の2点について意見交換依頼があり、結果、次の方向で検討を進めることとなった。

- ・シンポジウムのテーマ：

✓ JST 共創の場形成支援プログラム「フェーズフリーな超しなやか社会を実現する 5D-MaaS 共創拠点 (2022-2023 年度)」のフォローアップ企画とする

✓ 少子高齢化、労働力不足等の社会的課題を絡める

- ・第17回運営委員会&参画機関見学会の開催地：

東急プロパティマネジメント(株)を第1候補として依頼を進める

(3) 巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム開催報告

遠藤副会長から、資料3に基づき開催報告があった。

(4) その他

特になし。

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

(1) 令和5年度修了者の進路報告について

岡島委員から、資料4に基づき次の報告があった。

- ・ 博士前期課程：1 名が参画機関に就職
 - ・ 博士後期課程：2 名は参画機関の現職者
- (2) 令和 5 年度コンソーシアム参画機関の修了者数について
岡島委員から、資料 5 に基づき次の報告があった。
- ・ 博士後期課程：2 名（うち 2 名早期修了者）
- (3) 令和 6 年度コンソーシアム参画機関の学生数について
岡島委員から、資料 6 に基づき次の報告があった。
- ・ 博士前期課程・後期課程ともに今年度入学者は 0 名
新規入学者を得るための告知を強化していきたい
- (4) 令和 6 年度協働大学院教員の指導する学生数について
岡島委員から、資料 7 に基づき次の報告があった。
- ・ 主指導として博士後期課程 10 名を指導
 - ・ 副指導は現在調整中だが、昨年度と同程度の指導学生数となる見込み
- (5) 参画機関向け学位プログラムリーフレットの更新について
岡島委員から、資料 8 に基づき次の報告があった。
- ・ リーフレットを更新したため各機関内で展開願いたい
 - ・ 「修了者の声」に昨年度早期修了した真城源学氏（東急総合研究所）のコメントを掲載
- 関連して、真城氏の学位表記を次のとおり訂正し、改めて参画機関に展開することとなった。
- ・ 博士（工学）取得 → 令和 6 年 3 月 博士（工学）取得
- (6) その他
特になし。

以上